

# 令和3年度高次脳機能障害支援に係る 医療・保健・福祉関係職員研修会（オンライン研修）

脳損傷後に現れる認知機能の後遺症である高次脳機能障害は、リハビリテーションによって回復に向かいます。しかしながら、当事者や家族は、障害を理解することが難しく、戸惑いや不安を抱えることが少なくありません。また、見えない障害もあり、周囲の理解が得られにくく、アセスメントも難しく、支援者が対応に悩むこともあります。高次脳機能障害があっても活き活きと生活できるよう、様々な専門職がどう連携してサポートしていくのか、皆さんも考えてみませんか。

## 講演

テーマ「高次脳機能障害の診断と地域支援について」（仮）（60分）

講師：国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害情報・支援センター  
センター長 深津 玲子 氏

東北大学医学部を卒業後、同大神経内科入局。宮城病院神経内科部長等を経、2006年より国立障害者リハビリテーションセンター勤務。現在、同センター 高次脳機能障害情報・支援センター長。

○研究内容等：高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキスト開発のための研修（厚生労働省科学研究 研究代表者）、高次脳機能障害の診断方法と診断基準に資する研究（厚生労働省科学研究 研究分担者）、など

## 実践報告

テーマ「高次脳機能障害者に対する地域機関連携による支援  
について」（仮）（60分）

事例報告者：南魚沼市民病院 公認心理師（臨床心理士） 長沼 亨 氏 ほか



日 時：令和4年1月22日（土） 午後2時00分～4時10分

■対象者 医療関係者（医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、医療相談員、臨床心理士、公認心理師等）、保健福祉関係職員（相談支援専門員、介護支援専門員、支援員等）、行政職員（保健師、相談員等）、ほか高次脳機能障害者の支援に携わる者

※Zoomによる受講が可能な方に限ります。

※日本医師会生涯教育講座の対象研修となるよう認定申請を行っています。対象研修となる場合は、対象の申込者に受講にあたっての留意事項を別途送付します。

【単位数：2.0/カリキュラムコード：10、13、29、78】（予定）

■申込方法 1/13（木）までに申込フォーム、又は、別紙「受講申込書」によりメールで申し込む。【定員 150名程度】

（本紙及び受講申込書は新潟県精神保健福祉センターホームページにも掲載しています。）

新潟県精神保健福祉センター ホームページ URL

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seishin/1348088465556.html>



←申込フォームはこちらから

■問合せ先 新潟県高次脳機能障害相談支援センター（新潟県精神保健福祉センター内）  
電話：025-280-0114 Mail：ngt043040@pref.niigata.lg.jp



主催：新潟県精神保健福祉センター

後援：新潟県医師会、新潟県言語聴覚士会、新潟県作業療法士会、  
新潟県理学療法士会、新潟県医療ソーシャルワーカー協会、  
新潟県精神保健福祉士協会、新潟県介護支援専門員協会、  
新潟県相談支援専門員協会（予定）